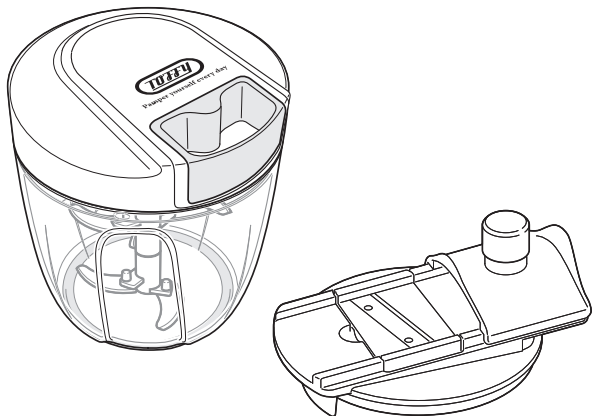


TOFFY マルチハンディチョッパー

品番：K-HC7

家庭用



ユーザーズガイド

このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本製品をお使いになる前に必ず本書をお読みいただき、正しくお使いください。
本書は読み終わったあと、大切に保管してください。

LADONNA

安全上のご注意 必ずお読みください

- 禁止** 5枚カッター・カッターパーツの刃には触れないでください。
けがの原因となります。
- 禁止** 分解・修理・改造はしないでください。
故障・けがの原因となります。
- 蓋のすき間からピンや針金などの金属物など、異物を入れないでください。
異常動作して故障・けがの原因となります。
- 子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使用・保管しないでください。
けがの原因となります。
- 本製品は一般家庭用です。業務用として使用しないでください。
故障の原因となります。
- 破損や変形があるときは絶対に使用しないでください。
故障・けがの原因となります。
- 不安定・滑りやすい場所や水気・振動に弱いところで使用しないでください。
故障・けがの原因となります。
- 容器の半分以上に材料を入れないでください。
故障・破損の原因となります。
- 各容器に熱い材料を入れないでください。食材は必ず常温に冷ましてからご使用ください。
変形・破損・やけどの原因となります。
- 各部品は冷凍庫や電子レンジ、オーブンなどに入れないでください。
破損・故障・けがの原因となります。
- お手入れをするときは、研磨剤を含む洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉、金属タワシなどは絶対に使用しないでください。
傷がついたり、変色・変形・故障の原因となります。
- お手入れをするときは、熱湯をかけた後、食器洗浄機・食器乾燥機など使用しないでください。
変色・変形・破損などの原因となります。

製品仕様

品名	Toffy マルチハンディチョッパー	主な材質	ポリスチレン(容器)、 ABS樹脂(蓋)、 ほか品質表示参照
品番	K-HC7	生産国	中国
本体寸法	約φ125×145(H)mm (5枚カッター使用時)	付属品	5枚カッター、ブレンダー、 内蓋、保存蓋、カッター パーツ(5種類)、カッター プレート、安全ホルダー、 ユーザーズガイド
重量	約300g (5枚カッター使用時)		
満水容量	900mL		

品質表示

部品	原料樹脂	耐熱温度	耐寒温度
容器・内蓋・カッター パーツ・カッタープレート	ポリスチレン	75℃	-20℃
ブレンダー・保存蓋	ポリプロピレン	90℃	-20℃
蓋軸	ポリアセタール	90℃	-20℃
蓋・ハンドル・安全ホルダー	ABS樹脂	80℃	-20℃
カッター軸	ポリエチレン	85℃	-20℃
すべり止め	熱可塑性エラストマー	65℃	-20℃
その他の材料/刃	ステンレス鋼		

*本書の内容および製品仕様は、予告なく変更されることがあります。
*「Toffy」は(株)ラドンナ、(株)キングジムの登録商標です。

株式会社ラドンナ

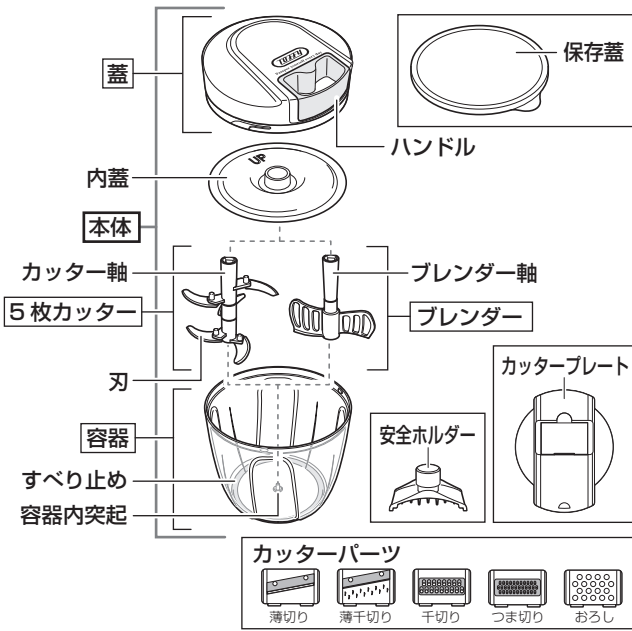
〒135-0031 東京都江東区佐賀 1-5-9 永代 MKビル
https://ladonna-co.net/ 2020-①

この度は、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
製品についてお気づきの点、ご不明の点がございましたら、お買い上げの販売店、または当社までお問い合わせください。

■本製品および梱包材の廃棄方法については、各自自治体の指示に従って行ってください。
■オークションなどによる転売や中古販売によって購入された商品については、一切責任を負いかねますので予めご了承ください。

- 禁止** 落とす・ぶつけるなど強い衝撃を与えないでください。
故障・破損・けがの原因となります。
- 禁止** 調理以外に使用しないでください。
故障・けがの原因となります。
- 付属している専用部品以外は使用しないでください。
故障・けがの原因となります。
- 使用できない食材を調理しないでください。
故障・破損の原因となります。
「調理できない食材」(裏面)をご確認ください。
- 容器に調理物を入れて長期間の保存はしないでください。
部品の劣化・故障の原因となります。
- 本体が割れたり、ヒビが入った場合は絶対に使用しないでください。
故障・破損・けがの原因となります。
- 温度の高いところや火気のあるところ、直射日光が当たるところでは使用・保管しないでください。
変形・破損の原因となります。
- !** 使用後は十分にお手入れして乾燥させてください。
使用後そのままにしておくと、カビやサビなどの原因となります。
- !** 5枚カッター・カッターパーツに付着した食材を取り出すときは、
直接手で取り出さず、へらやスプーンなどで取り出してください。
けがの原因となります。
- 食材の分量(入れすぎ、少なすぎ)にご注意ください。
調理できない場合があります。
- ハンドルを過度な力で引いたり、長時間引いた状態にしないでください。
故障の原因となります。
- 柑きつ類の調理にはご注意ください。
レモンなど柑きつ類の皮に含まれるテルペンまたは油脂によって
容器が変質することがあります。

各部名称



注意 5枚カッター・カッターパーツの刃の部分に直接触れないでください。けがの原因となります。

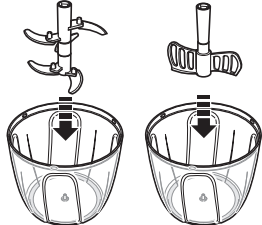
使いかた

初めて使用するとき・長期間使用していなかったとき
すべての部品を洗い、乾燥させてください。

注意 蓋は水に浸けず、かるく水拭きしてください。
蓋に水が入り、カビやサビなどの原因となります。

■ 5枚カッター・ブレンダーの使いかた

1 5枚カッター(またはブレンダー)を容器内突起に取り付けてください



- 軸を持ち、容器内突起に取り付けます。
- 5枚カッターの場合は、刃の部分にふれないように注意してください。
- ※食材が入った状態で5枚カッター(またはブレンダー)を取り付けしないでください。容器内突起と軸の間に食材が入り、故障の原因となります。

2 食材を容器に入れてください



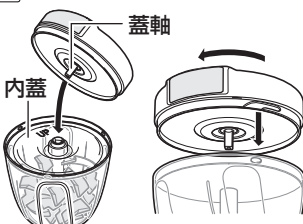
- 小さくカットした食材(ブレンダーを使用する場合は混ぜ合わせる液体)を、容器の半分以下になるように入れます。
- ※入れる食材の量が多すぎても少なすぎてもうまく調理できません。
- 左表にある食材は調理できません。
- 食材が片寄っているとき、うまく調理できませんので、均一に入れるようにしてください。

調理できない食材(例)

- ・冷凍された果物・野菜
- ・氷
- ・固い食材(生のじゃがいも、さつまいも、かぼちゃ、豆など)

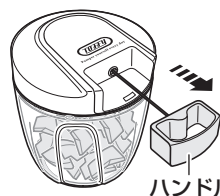
3 内蓋を「UP」が表面になるようにセットしてください

4 蓋を正しく取り付けてしっかり締めてください



- 蓋軸と5枚カッター(またはブレンダー)の軸を組み合わせます。
- 左図のように蓋と容器の凸凹を組み合わせることで蓋をはめ込みます。
- 蓋を時計回りに「カチッ」と音がするまで回し、しっかり締めます。
- ※正しく取り付けないと使用中に食材があふれる原因となります。

5 安定したテーブルなどに設置し、本体をしっかりを押さえ、ハンドルを図のようにまっすぐ水平に引いて調理してください

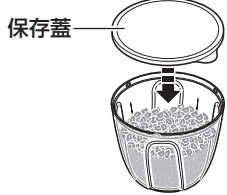


- ・ハンドルに角度を付けて引くと、本体や蓋の破損・転倒による故障やけがの原因となります。
- ・ハンドルを数回引いたあと、本体ごと振るなどして片寄った食材を均一にしてください。
- ・調理中に異音や異常を感じたら、すぐに調理を中止してください。
- ・ハンドルを引く際に大きな力が必要な場合は、食材を小さくしてください。

注意 ブレンダーを使用する際は、ハンドルをゆっくり引いてください。素早く引くと、中の食材があふれる場合があります。

6 調理後、蓋と内蓋を取りはずしてください

7 5枚カッター(またはブレンダー)を取りはずしてから調理物を取り出してください



調理物を取り出すときは、金属製のはしやスプーンなどは使用しないでください。容器を傷つける原因となります。

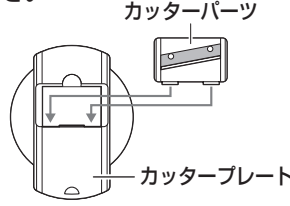
保存蓋を容器にセットして、そのまま調理物の保存をすることができます。

注意 ・長期間の保存はしないでください。
・保存する際は、カッター(またはブレンダー)を取りはずしてください。

8 再び調理をするときは、一度お手入れをしてから調理してください
お手入れをしないで調理を開始すると、各部品内部に食材が入り、故障などの原因となります。

■ カッタープレートの使いかた

1 カッターパーツの凸部分をカッタープレートの凹部分にはめこみセットしてください



2 カッタープレートを容器の上にセットしてください

※カッタープレートをご利用になる際は、必ず安全ホルダーをご使用ください。
※内蓋はセットしないでください。



お手入れのしかた

すべての部品を洗い、乾燥させてください

注意 蓋は水に浸けず、かるく水拭きしてください。
蓋に水が入り、カビやサビなどの原因となります。



- ・蓋に水が入った場合は、蓋の側面3カ所にある水抜き穴があるので、水抜き穴を下にして乾燥させてください。
- ・適度にハンドルを引いて、ひもの水気もとってください。

乾燥させたあとは、湿気の少ない風通しのいい場所に保管してください

注意 ・お手入れに、食器用中性洗剤以外の洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉、金属タワシなどは絶対に使用しないでください。傷がついたり、変色・変形・故障の原因となります。

・つけおき洗いはしないでください。破損や腐食・サビの原因となります。

・食器洗浄機、食器乾燥機などは使用しないでください。変色・変形・劣化・破損の原因となります。

・お手入れするとき、刃の部分に触れないように十分注意して洗ってください。

・使用後は早めにお手入れしてください。調理後そのままにしておくと、容器やひものに食材の色素が付着して変色することがあります。